

## 背景・目的

幌加内町朱鞠内地区の人口減少に伴い児童数が減少し、令和6年度末で朱鞠内小学校が休校することとなりました。これを受け「わんぱくの森」の協定解除を含めて今後の扱いについて検討しましたが、幌加内町教育委員会から活動継続の申し出があり、地域参加型の森林教室として継続することになりました。

本発表では、今年度実施した企画や活動を振り返り、その成果と課題を整理したうえで、来年度以降の活動の方向性を模索します。地域に活力を取り戻し、ふる里朱鞠内の森を未来へつなぐため、わんぱくの森の新たな役割と可能性を探ります。

## 今年度の企画内容

今年度は、謎解き系森林散策『グリーン・クエスト』を考案し、実施しました。

森仙人から最初のミッション  
「石を探せ」境界線を探しました！  
カード1枚ゲット




チェックポイントミッション  
(A～Dの4箇所)  
カード4枚ゲット  
別ミッションでさらにカード2枚  
ゲット




最後のミッション  
7枚のカードを並び替えて  
最終目的地へ向かえ！




新しい呪物の設置  
(カードを封印する“箱”)



カードの封印  
(呪物にカードを封印)




森の中の複数のチェックポイントを巡り、謎解きやネイチャーゲームなどの課題をクリアしてカタカナ1文字が書かれているカードを集めます。集めたカード(文字)を並べ替えることで、最終目的地を特定し到達できる仕組みです。

## 今後の展望

これまでの「小学校の森林教室」から、今後は「地域と森林がふれ合うイベント」として開催し、地域の活性化や地域住民と森林とのつながりを深める場として、わんぱくの森を活用していくことを検討しています。

具体的には、教育委員会との連携強化やより良い運営体制の構築に加え、年齢を問わず地域全体を巻き込むための広報や声かけ、大人も楽しめる魅力的なプログラムの企画や工夫が必要であり、あわせて安全対策を万全にすることも欠かせません。

将来的には「里山大学」のように、地方の自然・文化・暮らしや地域づくりを体験できる場として活用できる可能性も秘めていると考えています。

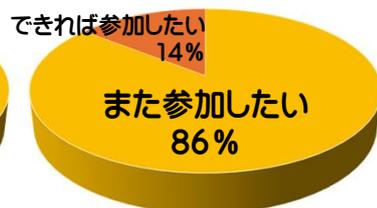
## 成果と課題

今日のイベントについてどう感じたか

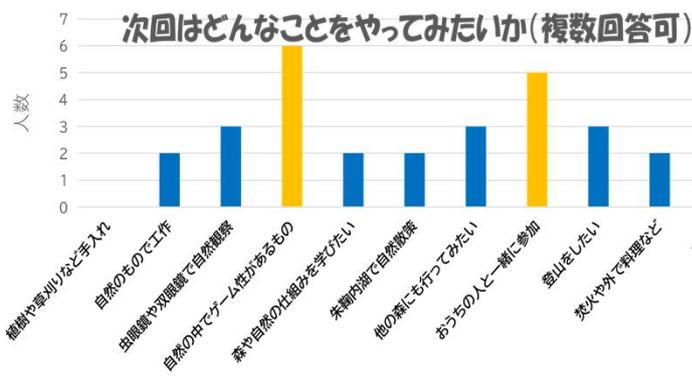


とても楽しかった 楽しかった 楽しかった 楽しかった  
ふつう あまり楽しくなかった

来年もわんぱくの森イベントに参加したいか



また参加したい できれば参加したい 内容による わからない たぶん参加しない



Q 今回発見したこと、感じたこと

- ・今まで穏やかなところしか歩いていなかったもので、急傾斜なところを歩いて自然をより実感できた。
- ・皆で謎解きをして、頭を使うのが楽しかった。
- ・葉っぱの神経衰弱が楽しかった。

【アンケート結果と教育委員会との打ち合わせから】

- ①年齢に拘らず、地域住民への参加の呼びかけの検討。
- ②参加者を惹きつけるプログラム企画。
- ③人慣れしてきているヒグマの対策。
- ④わんぱくの森の新たな活用法を模索。

